

第3学年国語科学習指導案

1. 単元名 大事なことをたしかめよう「すがたをかえる大豆」

2. 指導の考え方

子どもの実態

本学級の子どもたちは、1学期の「ありの行列」において、「なぜ、ありの行列ができるのか」という問いに対して、観察・実験・仮説・推論を表す叙述に着目しながら、その答えを読み取ってきている。その際、「はじめに、次に」などのことばをとらえて、順序に気をつけながら内容の大体をとらえたり、「その・この・それ」などの指示語に着目したりしながら学習をしてきている。また、段落ごとに何が書いてあるのかを、大事な文や中心となる文やキーワードとなることばに着目しながらとらえる学習をしてきた。しかし、段落と段落を比べたりして読むことや、ことばに込められた筆者の考えを確かに読み取ることができていない。

教材の特質

本教材は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、子どもたちにとって身近にとらえられる内容となっている。さらに、子どもたちにとって、大豆の加工食品は見ただけでは大豆からできているとは思われない物も多く、意外性をもって知る喜びを感じることでできる教材である。

本文は、「はじめ」「なか」「終わり」という大きなまとまりで構成されており、「はじめ」で話題を提示し、「なか」で5つの食材と工夫の事例を述べ、「おわり」で筆者の考えなどのまとめの部分となっている。段落構成を表すことばや「くふう」などのキーワードも明確で、段落相互の関係を考えながら文章の内容を的確に理解する力を育てることに適した教材だと言える。段落の書き出しが「いちばん分かりやすいのは・次に・また・さらに・これらのほかに」ということばになっており、これらの叙述が段落をつないだり比べたりしながら読む手がかりになったり、5つの事例について分かりやすいものから驚きのあるものへという筆者の表現の工夫について考える手がかりになったりすると考えられる。

指導にあたって

本教材の指導にあたっては、まず、題名から考えたことや疑問に思ったことを出し合い、冒頭とつないで読みのめあてを作る。

その後、全文を読みとおし、「はじめ」「なか」「おわり」という大きなまとまりに分け、「なか」の部分では大豆にどんな工夫をしてどんな食品に姿を変えているのかが書かれて

いること、「おわり」の部分においては筆者の考えが書かれていることを確かめる。そして、「大豆はどんな食品にすがたをかえているのだろう。そして、大豆をおいしく食べるためにどことなくふうをしているのだろう。」という読みのめあてに対する自分の考えを書きまとめる際には、「くふう」ということばやすがたを変えた食品にサイドラインを引き、それを手がかりにさせていく。

学習計画においては、それぞれの段落に書かれている食品について、その工夫を詳しく確かに読んでいこうということ、また、9段落の「昔の人々のちえにおどろかされます。」という筆者の感想に着目させ、どんなところにおどろかされるのかを考えていこうということに必要感を持たせる。

読み確かめにおいては、段落ごとに、姿を変えた食品とその工夫について、叙述をもとに読み取っていく。姿を変えた食品についてはほとんどの子どもたちが日常の生活の中で知っている。しかし、その食品にするためにどんな手を加えているのかについては、その手順等について順序立てて具体的な姿として描けてはいない。そこで、「いる・にる・ひく・すりつぶす・しぼり出す」などの手を加える時のことばや、指示語に着目させ、順序立ててくわしく読み取っていく。また、段落ごとに読んでいながら、前の段落とつないだり比べたりすることで、段落相互の関係を確かめていく。そして、それぞれの工夫の違いや素晴らしさについて、自分なりの感想を書きまとめていくようにする。「まとめ」である8、9段落においては、「大豆のよいところに気付き、食事に取り入れてきた」という叙述から、大豆のよいところについて読み取ったり、前の段落を振り返ったりしながら、「昔の人々のちえ」につないで考えさせたい。

読みのまとめにおいては、接続語などの段落の初めのことばに再度着目し、段落の構成を振り返っておさえる。また、どのようなことばに着目し、どのようなことを確かめながら読んでいったことで、分かりやすかったかなど、読み方について振り返っていく。

3. 目標

大豆をおいしく食べる工夫やその加工の仕方について、叙述をもとにそれぞれの段落相互の関係をとらえたり順序良く正確に読み取ったりしていくことで、昔の人々の知恵の素晴らしさに気付き、自分の身の回りの食品にも興味を持つことができるようになる。

指示語や手を加える時のことば等に注目して、事柄の順序を正しく具体的に読み取る力や、接続語に着目して段落と段落をつないだり比べたりする読み方を身につけることができる。

4. 学習計画（全 17 時間）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点
読みのめあて	1 / 17	<p>1. 単元名を読み,学習のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="371 656 863 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>題名とぼう頭から,読みのめあてを作ろう。</p> </div> <p>2. 題名「すがたをかえる大豆」から考えたことや,疑問に思ったことを出し合う</p> <p>3. 題名での考えたことや疑問につないで,冒頭部分(1,2段落)を読む。</p> <p>4. 読みのめあてを作る。</p> <div data-bbox="371 1417 890 1697" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>読みのめあて 大豆はどんな食品にすがたをかえているのだろう。そして,大豆をおいしく食べるために,どんなくふうをしているのだろう。</p> </div>	<p>単元名やリード文から,身の回りの食べ物について,大事なことに気をつけながら読む学習の後,調べ書く学習につないでいくことを確認する。</p> <p>「ありの行列」を想起させ,段落ごとに書かれていることをもとに学習していくことを確認する。</p> <p>大豆について知っていることや,「すがたをかえる」ということについての疑問を出し合わせる。</p> <p>題名での疑問の答えがあるかどうか考えながら冒頭を読ませる。</p> <p>大豆の実物を提示し,そのままではかたくて食べられないことを実感させ,「多くの人ほとんど毎日口をしているもの」であるというところに驚きをもたせて読みの意欲につなぐ。</p> <p>「いろいろ手をくわえて,おいしくたべるくふうをしています。」から疑問を持たせ読みのめあてにつなげる。</p>
自分の読みを持つ	2 / 17	<p>1. 前時を振り返り,本時学習のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="403 1832 890 1955" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>全文を読んで,読みのめあての自分の答えをまとめよう。</p> </div>	<p>掲示物を手掛かりに想起させる。</p>

		<p>2. 読みのめあてについての自分の答えを考えながら，全文の範読を聞く。</p> <p>3. 全文を大きなまとまりに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめ（1，2段落）話題の提示 ・なか（3～7段落）大豆にどんなくふうをしてどんな食品にすがたをかえているかについて説明 ・終わり（8，9段落）まとめ・筆者の考え <p>4. 読みのめあてに対する自分の考えを，手がかりとなることばをもとに書きまとめる。</p> <p>5. 自分の考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じところ，似ているところ ・違うところ，自分が落としているところ 	<p>工夫ということばと姿を変えた食品にサイドラインを引いたり，線で囲んだりさせる。</p> <p>時間や字数を制限し書きまとめさせる。</p> <p>姿を変えた食品とその工夫を表にまとめていきながら，友達の考えと似ているところや違うところをについて考えたり，落としているところを補い合ったりする。</p> <p>どの段落のどの部分に書かれているのかを，本文を縮小したもので確認していく。</p>
学習計画	3 / 17	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>段落ごとにどんなことをくわしく読んでいくのか計画を立てよう。</p> </div> <p>2. 段落ごとに読み確かめていくことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つのくふうをくわしく読んでいこう。 ・昔の人々のちえのどんなところにおどろかされるのかを考えよう。 	<p>「なか」の部分の段落において，一つひとつの段落で書かれていることをくわしく読んでいく必要感を持たせる。</p> <p>「昔の人々のちえにおどろかされます。」という叙述に目を向け，どんなところにおどろかされるのかを考えることにつないでいく。</p>
読み確かめ	4 / 17	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>豆まきに使う豆やに豆やきなこにしておいしく食べるために，どのように手をくわえてくふうしているのだろう。</p> </div>	<p>掲示物を手がかりに学習計画を想起させる。</p>

	<p>2. 本時学習の段落(3,4段落)を音読する。</p> <p>3. 豆まきに使う豆やに豆,きなこにするためにどんな手をくわえているのかを話し合う。 (3段落)豆まきに使う豆...いる に豆...にる (4段落)きなこ...こなにひく</p> <p>4. 3段落と4段落を比べ,その違いについて話し合う。</p> <p>5. 今日の学習でを書く。</p>	<p>「その形のままいったり,にたりして,やわらかく,おいしくするくふうです。」の叙述とつないで,整理していく。</p> <p>「いる・にる・こなにひく」という手をかける時のことばに着目させる。これらのことばについては,辞書などを使って調べさせる。</p> <p>3段落は,「その形のまま」の工夫であるが,4段落は手を加えることで形が変わっていることに気付かせていく。</p> <p>そのままではかたくて食べられない大豆を手を加えることでおいしく食べられるように工夫したことについてどう思うか自分なりの感想を書きまとめさせる。</p>
<p>5 / 17 本 時</p>	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>とうふにしておいしく食べるために,どのように手をくわえてくふうしているのだろう。</p> </div> <p>2. 本時学習の段落(5段落)を音読する。</p> <p>3. とうふにするためにどんな手をくわえているのかを話し合う。 ・水をいっぱいにすいこんだ... ・すりつぶすと... ・...水をくわえて熱します。 ・...しぼり出し...くわえます。</p> <p>4. 前の段落での工夫と比べ,違う点について話し合う。</p>	<p>掲示物を手がかりに前時までの学習を想起させる。</p> <p>手を加える時のことばを順序立てておさえて板書していく。 具体的にどうするのかについてことばをもとに考えさせる。 写真,実物などを補助的に提示する。</p> <p>3,4段落の工夫に比べ,たくさんの手間がかかっていること,大切な栄養だけを取り出すことができることに気付かせる。</p>

	<p>5. 今日の学習でを書く。</p>	<p>たくさんの手順を踏んでとうふにすることで大切な栄養だけを取り出すことができ、おいしく食べられるというこの工夫についてどう思うか自分なりの感想を書きまとめさせる。</p>
<p>6 / 17</p>	<p>1. 本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なっとう，みそやしょうゆにしておいしく食べるために，どのように手をくわえてくふうしているのだろう。</p> </div> <p>2. 本時学習の段落(6段落)を音読する。</p> <p>3. なっとう，みそ，しょうゆにするためにどんな手をくわえてくふうしているのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なっとう...ナットウキン，あたたかい場所に一日近く ・みそ，しょうゆ...コウジカビ，風通しのよい所に半年から一年の間 <p>4. 前の段落と比べ，違う点について話し合う。</p> <p>5. 今日の学習でを書く。</p>	<p>掲示物を使って，前時までの学習を想起させる。</p> <p>なっとうと，みそ・しょうゆに分け，どのように手をくわえていくのかを整理していく。</p> <p>指示語に着目し，手順を順序良くとらえたり，対比して考えさせたりする。</p> <p>写真やカードを補助的に利用する。</p> <p>叙述をもとに，菌やカビといった生物の力をかりて作っているものであること，また同時に手や時間もかかっていることに気付かせる。</p> <p>他の生物の力を借りたり，手間や時間をかけたりして，なっとう，みそ，しょうゆにして，大豆をおいしく食べられるようにしたこれらの工夫についてどう思うか自分なりの感想を書きまとめる。</p>
<p>7 / 17</p>	<p>1. 本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>えだ豆やもやしにしておいしく食べるために，どのように手をくわえてくふうしているのだろう。</p> </div> <p>2. 本時学習の段落(7段落)を音読する。</p>	<p>掲示物を手がかりに前時までの学習を想起させる。</p>

	<p>3. えだ豆やもやしにするためにどんな</p> <p>4. 手をくわえているのかを話し合う。 ・えだ豆...わかくてやわらかいうちに取り入れ... ・もやし...日光に当てずに水だけをやっ て育てる...</p> <p>5. 前の段落と比べ,違う点について話し 合う。</p> <p>6. 今日の学習でを書く。</p>	<p>枝豆,もやしの作り方を「とり入れ る時期や育て方をくふうした」という 叙述とつなぎながら整理する。</p> <p>前の段落のくふうに比べ,発想を転 換し,育て方や取り入れの時期を変え ることで,簡単においしく食べること ができる食べ方であることに気付かせ る。</p> <p>調理法だけでなく,育てる段階にお いても工夫することでおいしく食べら れることで,多様な工夫をしてきてい ることに気付かせ,自分なりの感想を 書きまとめさせる。</p>
<p>8 / 17</p>	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひっ者は昔の人々のちえのどんなとこ ろにおどろかされたのだろう。</p> </div> <p>2. 本時学習の段落(8,9段落)を音読 する。</p> <p>3. 筆者がどんなところにおどろかされ たのかを話し合う。 ・大豆のよいところ...味もよくたくさんの 栄養を含んでいる,やせた土地にも強く育 てやすい ・食事に取り入れてきた...3~7段落で述べ られた様々工夫を経て</p> <p>4. 昔の人々のちえについてどう思っ たかを書きまとめる。</p> <p>5. 本時学習のまとめをする。</p>	<p>掲示物を手がかりに,学習計画など, 前時までの学習を想起する。</p> <p>「大豆のよいところに気付き,食事 に取り入れてきた昔の人々のちえにお どろかされます。」という叙述を中心 に,前の段落とつないで考えさせてい く。</p> <p>筆者がおどろかされた昔の人々のち えについて,自分はどう思ったのかと いう視点を持たせ,書きまとめさせる。</p>

<p>9 / 17</p>	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大豆をおいしく食べるくふうについて ふりかえり，よみかたのまとめをしよう。</p> </div> <p>2. 全体の段落構成を振り返り確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちばん分かりやすいのは ・次に ・また ・さらに ・これらのほかに <p>3. 読み方のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落を比べて読んだこと ・順序に気をつけながら読んだこと ・指示語に気をつけながら読んだこと 	<p>それぞれの段落の書き出しのことはとそれぞれの工夫を対応させてとらえさせる。</p> <p>分かりやすいものから驚きのあるものへという順序で述べている筆者の工夫に気付かせる。</p>
<p>10 / 17 / 17</p>	<p>1. すがたをかえる大豆で学習したことをもとに，食べ物のかせになろうを読み，調べたい食べ物を決める。</p> <p>2. 学習計画を立てる。</p> <p>3. 目的に合った図書資料を探し，調べたい事柄を選び，情報をカードに書きまとめる。</p> <p>4. カードを整理し，まとまりごとに文章を書く。</p> <p>5. できあがった文章を交流し，感想を伝え合う。</p>	<p>身近な食べ物について，興味を持ったことや調べたいことを，本で調べまとめ，みんなに伝えることを確認する。</p> <p>何について，どんなことを調べるのかということの見通しを持たせる。</p> <p>目的に合ったページに付箋を付けさせ，必要な事柄を情報カードに書かせる。</p> <p>分からない言葉は辞書で調べさせ，分かりやすい言葉に変えるようにする。</p> <p>カードを動かしながら，取捨選択をしたり，どのような順序で説明するのかを考え，段落意識を持たせる。</p> <p>「すがたをかえる大豆」での接続語の使い方を参考にさせる。</p> <p>互いに読み合い，よくわかったことやおもしろかったところを見つけるようにする。</p>

5 . 本時 (5 / 17) 読み確かめ

6 . 本時の目標

「こうすると、とうふができあがります。」という文につないで、手の加え方を表すことばを順序良く正確に読み取ったり、前の段落と比べたりしながら、大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出しておいしく食べるための工夫について読み確かめることができる。

7 . 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、題名と冒頭から「大豆はどんな食品にすがたをかえているのだろう。そして、大豆をおいしく食べるためにどことなくふうをしているのだろう。」という読みのめあてを作り、自分の読みを書きまとめたり、学級で出し合ったりしてきた。そして、読み確かめの過程に入り、3, 4の段落において「いる」「にる」「こなにひく」などのことばをもとに、大豆をおいしく食べるための工夫を読み取ってきている。

本時は、5段落のとうふという大豆にふくまれる栄養だけを取り出して違う食品にする工夫について読み確かめる学習である。どうやってとうふが出来上がるのかを叙述をもとにしながら、順序良く具体的な姿として読み取らせていく。

そこで本時学習にあたっては、まず、学習のめあて「とうふにしておいしく食べるために、どのように手をくわえてくふうをしているのだろう。」を確認した後、「こうすると、とうふができあがります。」という文に着目させ、「どう」するととうふができあがるのか、どのように手を加えているのかが分かる部分にサイドラインを引かせたり、書き込みをさせたりしていく。そして、全体での話し合いの中で、「すいこむ」「すりつぶす」「くわえる」「熱する」「しぼり出す」などの「手を加える」ことばについて似ていることばと比べたり、具体的にどうすることなのかを考えたりして、どのような作業を経てとうふが出来上がるのかを順序良く読み取っていく。その際、一つひとつの作業を表す叙述を並べて板書したり、補助的に写真を提示したりしていきたい。

そして、何のために大豆をとうふにしているのかを「大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にする工夫もあります。」という叙述をもとに確認し、前の段落で述べられている工夫との違いについて考えていく。前の段落の工夫と比べてたくさんの手がかかっていることなどの違いや、とうふにするという昔の人の知恵の素晴らしさに気づかせていきたい。

本時学習のまとめでは、「とうふにするというくふうについてどう思ったか。」という視点で感想を書きまとめたり、「どのような読み方をしたら、とうふにするくふうがよくわかったか」という読み方について振り返りながら、「今日の学習で」を書くようにする。

8. 本時の展開

主な学習活動	指導上の留意点
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>とうふにしておいしく食べるために、どのように手をくわえてくふうしているのだろう。</p> </div> <p>2. とうふにするためにどんな手をくわえているのかを読み確かめる。</p> <p>(1) 5段落を音読する。</p> <p>(2) どんな手を加えているのかを探し、サイドラインを引いたり、書き込みをしたりする。</p> <p>(3) どんな手を加えるのかを表す叙述について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すいこむ ・ すりつぶす ・ くわえる ・ 熱する ・ しぼり出す <p>(4) 何のためにこのような工夫をしているのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「大豆にふくまれるたいせつなえいようだけを取り出して」 ・ 「ちがう食品にする」 <p>3. 3, 4段落との違いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前の段落に比べてたくさんの手がかかっている。 ・ ニガリという別のものをくわえて違う食品にしている。 ・ 大切な栄養だけを取り出している。 <p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>視点</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ とうふにする方法を考えた昔の人たちは、すごいなと思った。 ・ 昔の人たちが工夫したことで、大豆がやわらかくたべられて良かった。 	<p>学習計画、自分の読みを出し合ったときの掲示物などを手がかりに想起させる。</p> <p>どんな手を加えているのかに気をつけながら音読させる。</p> <p>「<u>こう</u>するととうふができあがります。」叙述を手がかりに考えさせる。</p> <p>一つひとつの作業を表す叙述を順序が分かりやすいように板書する。</p> <p>似ていることばと比べたり、具体的にどうすることなのかを考えたりさせる。</p> <p>写真を補助的に提示する。</p> <p>3, 4段落の工夫に比べて、たくさんの手間がかかっていること、大切な栄養だけを取り出すことができることに気づかせる。</p> <p>とうふを作って、大豆をおいしく食べ得られるように考えた昔の人々のちえについてどう思ったかを自分なりに書きまとめさせる。</p>

<p>視点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 手を加えることを表すことばを順序よく読んだこと。・ 段落と段落を比べて読んだこと。	<p>どのような読み方をしたら、どうふにする工夫についてよく分かったかを振り返らせる。</p>

すがたをかえる大豆

とうふにしておいしく食べるために、どのように手をくわえてくふうしているのだろう。

また、大切なえいようだけを取り出して

ちがう食品にするくふうもあります。

水をいっぱいにしていこんだ大豆を…

すりつぶすと白っぽい汁が出てきます。

これに水をくわえて

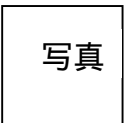
熱します。

その後、ぬのを使って中身をしぼり出し、

かためるために

ニガリというものをくわえます。

こうすると、とうふができあがります。



3、4だんらくとくらべて

- ・ たくさんの手がかかっている。
- ・ ニガリという別のものをくわえている。
- ・ 大切なえいようだけを取り出している。